



第5章 計画の体制と管理



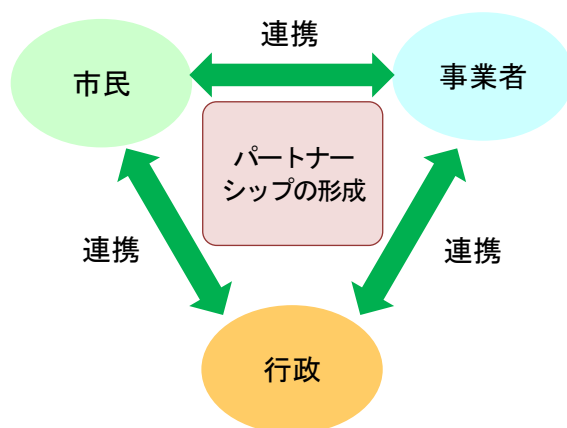


第5章 計画の体制と管理

1 計画の推進体制

本計画の実現に向け、第4章に示した施策を計画的かつ効果的に進めていくため、市民・事業者・行政が対等な立場で協力・連携し、それぞれの役割を果たしていきます。

■市民・事業者・行政による協働の仕組み



■市民・事業者・行政の役割分担

市民	【緑の保全】
	○樹林地の保全 ○農地の保全 ○樹林等の保全 など
	【緑の創出と活用】
	○レクリエーションの場として公園の活用 ○公共公益施設★の緑化 ○住宅敷地内の緑化 ○制度等を活用した地域との連携による緑化 など
事業者	【緑の普及と啓発】
	○緑化活動への参加 ○制度等を活用した緑化活動の実施 ○公園づくりに関する提案と維持管理への協力 など
	【緑の保全】
	○樹林地の保全 ○農地の保全 ○樹林等の保全 ○建築・開発行為等に伴う自然環境に配慮した緑地の確保 など
行政	【緑の創出と活用】
	○公共公益施設の緑化 ○事業所敷地内の緑化 ○制度等を活用した地域による緑化 など
	【緑の普及と啓発】
	○緑化活動への参加 ○制度等を活用した緑化活動の実施 など
行政	【緑の保全】
	○法令等を活用した緑地の保全 ○開発行為等に伴う緑化の指導 など
	【緑の創出と活用】
	○公園・緑地の整備 ○公園・緑地の維持管理 ○公園の利活用に向けた公園施設の充実 ○公共公益施設の緑化 ○制度等を活用した緑化活動の支援 ○緑化に関する情報発信 ○緑のネットワークの形成 など
行政	【緑の普及と啓発】
	○緑に親しむ機会の創出と情報発信 ○緑化活動に対する支援制度の充実 ○市民参加による公園づくり ○緑化に対する学習機会と環境の充実 など



2 計画の推進管理

実現に向けて、目標を段階的に達成しつつ、着実に実施していくことを基本とし、第4章に示した施策の推進プログラムを設定します。

(1) 推進プログラム

推進プログラムについては、策定年の令和5年(2023年)から目標年次である令和14年(2032年)までの10年間を5年ごとに前期と後期に分けて設定します。

実施目標の前期では、関係部局との連携を図りながら、早期に着手可能な施策を中心に設定し、後期では、計画の前期に整えた体制・仕組みを生かして、前期の施策を継続しながら、計画の実現に向けて施策に取り組んでいきます。

■施策の実施目標と実施主体

基本方針	取組	主要施策	具体的な施策	実施目標		実施主体			指標		実績		備考
				前期 (R5～R9)	後期 (R10～R14)	市民	事業者	行政	内容	目標値	H27	直近値	
基本方針 1 今ある緑を守ります (緑の保全)	取組 1 都市環境を形成する緑の保全	①骨格的緑地の保全	○丘陵樹林地：保安林などの保全			○	○	○	保安林面積	2,436.7 ha	2,436.7 ha	2,436.7 ha	直近値（R 3）の維持
			○海岸線：自然公園などの保全					○	自然公園面積	469.0 ha	469.0 ha	469.0 ha	直近値（R 3）の維持
			○河川：河川区域の保全					○	河川区域面積	88.3 ha	88.3 ha	88.3 ha	直近値（R 3）の維持
			○農地：農用地区域の保全			○	○		農用地区域面積	108.5 ha	108.5 ha	108.5 ha	直近値（R 3）の維持
		②水辺環境の保全・活用	○水辺環境：保安林などの保全・活用					○		－	－	－	
	取組 2 身近に触れ合える緑の保全	③身近な樹林地及び樹木の保全	○社寺境内林：保全配慮地区などの保全				○		保全配慮地区面積	5.7 ha	5.7 ha	5.7 ha	直近値（R 3）の維持
○樹林及び樹木：記念保護樹木などの保全					○	○	○	保全樹林面積	19.0 ha	19.0 ha	19.0 ha	直近値（R 3）の維持	
基本方針 2 新たな緑をつくり、 生かします (緑の創出と活用)	取組 3 魅力ある公園づくり	④公園・緑地の整備	○都市公園の適正な配置					○		－	－	－	
			○都市公園の機能の集約					○		－	－	－	
			○都市公園の整備					○	都市公園の開設数	1 0 1 箇所	9 3 箇所	9 3 箇所	都市公園の整備（新設 8 箇所、拡張 3 箇所）
			○公共施設緑地の整備					○	港湾緑地の開設数	6 箇所	3 箇所	3 箇所	港湾緑地の整備（新設 3 箇所、拡張 1 箇所）
		⑤公園・緑地の魅力向上	○公園施設の充実					○		－	－	－	
			○冬期間の公園利用			○		○		－	－	－	
			○公園・緑地の維持管理					○	公園・緑地に関する「市民の声」件数	1 9 0 件	3 4 6 件	2 1 1 件	直近値（R 3）の 1 割減
	取組 4 花と緑で癒されるまちなみの形成	⑥公共公益施設の緑化	○公園の緑化			○	○	○	オープン花壇の実施団体数	3 団体	－	2 団体	活動場所（3 箇所、3 団体）
			○道路の緑化			○	○	○	街路樹本数	81,000 本以上	91,200 本	81,000 本	直近値（R 2）以上
			○河川の緑化			○		○		－	－	－	
			○学校などの緑化			○		○		－	－	－	
			○その他の公共公益施設の緑化			○		○		－	－	－	
		⑦民有地の緑化	○住宅地、商業地及び工業地の緑化			○	○			－	－	－	
			○緑化に関する制度の活用			○	○			－	－	－	
			○市街地の緑化			○	○		花と緑のまちづくり事業助成団体数	3 団体	1 団体	1 団体	活動場所（3 箇所、3 団体）
	取組 5 緑のネットワークの活用	⑧エコロジカルネットワークの形成	○生物多様性に配慮した公園・緑地の保全			○	○	○		－	－	－	
		⑨防災ネットワークの形成	○防災拠点としての公園・緑地の活用					○		－	－	－	
			○防火帯としての道路の緑化					○	街路樹本数	81,000 本以上	91,200 本	81,000 本	直近値（R 2）以上
		⑩レクリエーションネットワークの形成	○拠点及び回遊路によるネットワークの創出・活用			○	○	○		－	－	－	
基本方針 3 緑への理解を深めます (緑の普及と啓発)	取組 6 緑を守り育てる体制の充実	⑪緑化を推進する体制づくり	○緑化活動団体の育成					○	自然観察会の開催回数	4 回	2 回	0 回	夏 2 回及び秋 2 回
			○緑化活動への支援					○	花と緑のまちづくり事業助成団体数	3 団体	1 団体	1 団体	活動場所（3 箇所、3 団体）
			○市民参加による公園づくり			○			地域ボランティアの団体数	4 5 団体	4 6 団体	4 4 団体	公園愛護会（4 2 団体）、オープン花壇（3 団体）
		⑫緑を育む基礎づくり	○緑化手法の検討					○		－	－	－	
			○緑化推進制度の周知					○	花と緑のまちづくり事業助成団体数	3 団体	1 団体	1 団体	活動場所（3 箇所、3 団体）
	取組 7 緑と触れ合える機会の充実	⑬緑化環境の充実	○緑化イベントの開催					○	緑化イベントの開催回数	7 回	3 回	1 回	自然観察会 4 回、左記以外 3 回
			○自然観察会の開催					○	自然観察会の開催回数	4 回	2 回	0 回	夏 2 回及び秋 2 回
			○広報活動の充実					○	ホームページの更新回数	1 2 回	4 回	1 回	自然観察会、イベント等
		⑭教育環境の充実	○野外学習の場の活用					○	自然観察会の開催回数	4 回	2 回	0 回	夏 2 回及び秋 2 回
○学習機会の充実						○		－	－	－			



序章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

資料編



(2) 計画の推進管理

計画の推進管理は、計画の策定（Plan）、施策の実施（Do）、進捗状況などの検証・評価（Check）、評価に基づいた改善策（Action）を検討する PDCA サイクルによる管理を行います。そして、定期的に施策の進捗状況や問題点などを検証し、関係部局と連携を図り、本計画の推進に努めます。

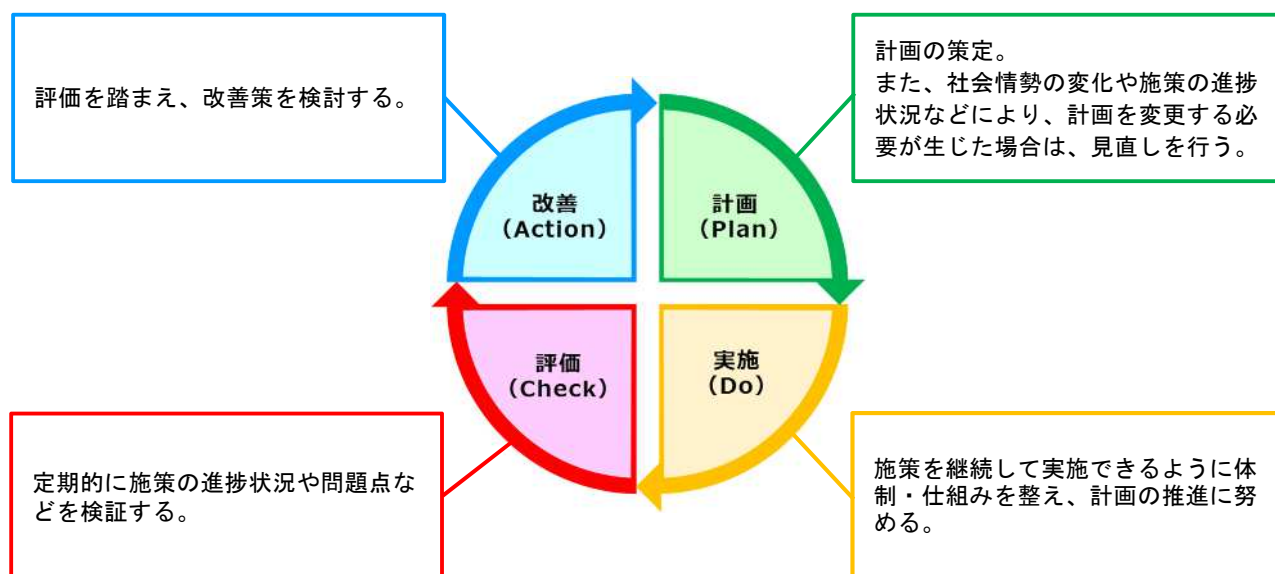
(3) 関係機関との連携及び協力要請

上位計画・関連計画を有する国や北海道などの関係機関と連携を図り、計画の推進に向けて協力を要請していきます。

(4) 計画の見直し

計画の見直しは、本市を取り巻く社会情勢の変化や施策の進捗状況などのほか、中間年、「小樽市立地適正化計画★」の策定において、計画変更の必要性が生じた場合は適宜見直しを行います。

【PDCAサイクル】





序
章

第
1
章

第
2
章

第
3
章

第
4
章

第
5
章

資
料
編